



No. 8-1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成29年度第4回

一般国道42号
たなべにし
田辺西バイパス

【再評価】

平成29年10月
近畿地方整備局

目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
3. 事業の進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案等の立案の可能性の視点
5. 関係自治体の意見
6. 対応方針(原案)

1. 事業の概要

事業の目的

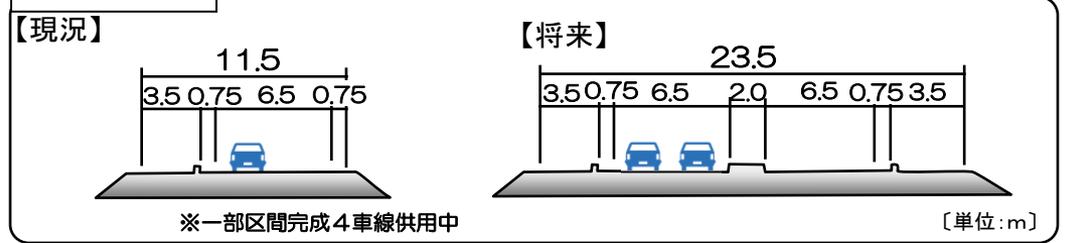
- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 災害時の交通確保

事業の概要、進捗状況

区間	(起) 和歌山県 ^{たなべ} 田辺市 ^{いなりちよう} 稲成町 (終) 和歌山県 ^{たなべ} 田辺市 ^{はやちよう} 芳養町 ^{おおや} 大屋
道路延長	3.8km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	4車線
標準幅員	23.5m
計画交通量	16,000台/日
全体事業費	305億円
事業化	平成9年度
都市計画決定	平成8年11月
用地着手	平成13年度
工事着手	平成13年度
供用延長	2.2km
事業進捗率	83% (平成29年3月末)
用地取得率	99% (面積ベース、同上)



標準断面図



計画図

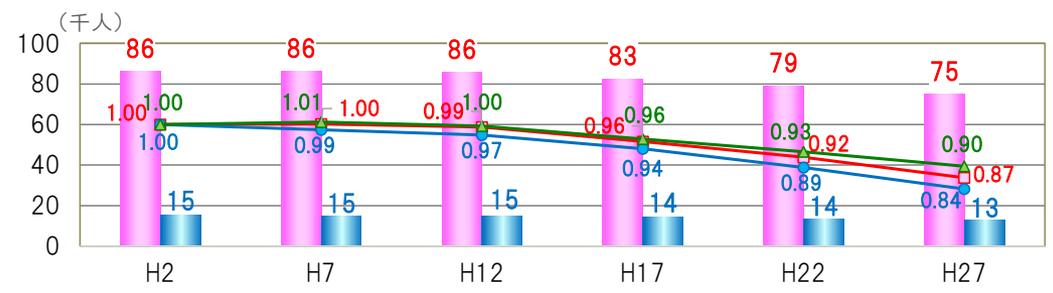


2. 事業の必要性等に関する視点 一般国道42号 田辺西バイパス

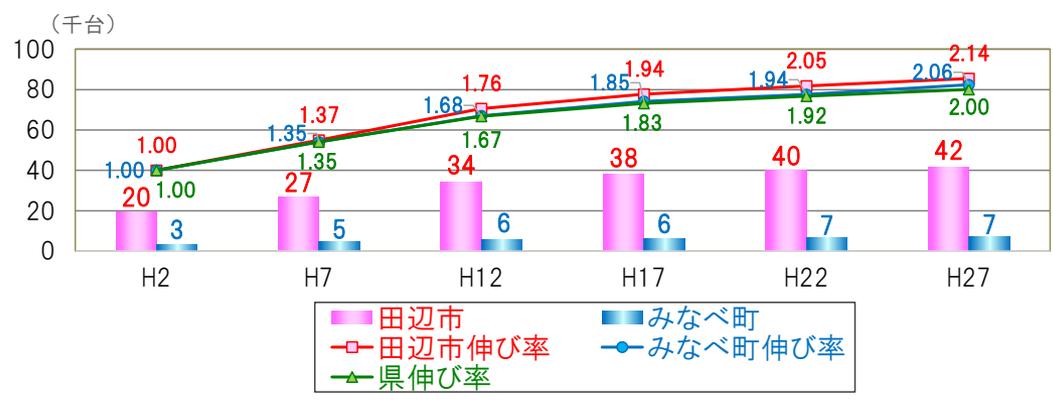
1) 事業を巡る社会情勢の変化

- 田辺西バイパス周辺の和歌山県田辺市、みなべ町は、近年、人口は減少傾向であるが、自動車保有台数は増加傾向。
- 未事業化区間であった紀勢自動車道(すさみ南IC～串本IC)は平成26年度に事業化。
- 紀勢自動車道(南紀田辺IC～すさみ南IC)は、平成27年度に開通。

▼人口の推移(H2を1.0とした場合)



▼自動車保有台数の推移(H2を1.0とした場合)



出典: 国勢調査

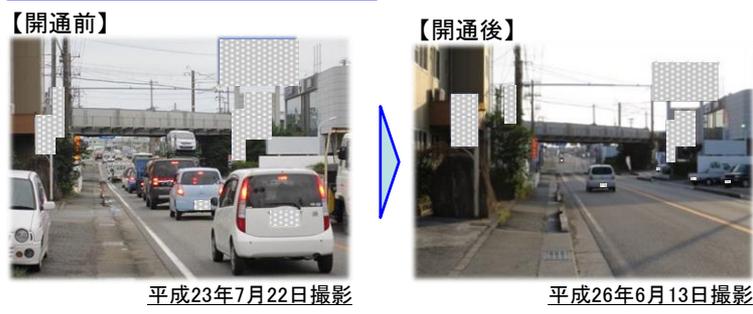
2. 事業の必要性等に関する視点 一般国道42号 田辺西バイパス

2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 田辺西バイパスと並行する国道42号では、部分開通による交通転換で明洋交差点の混雑は緩和。
- 部分開通により芳養交差点周辺に交通が集中し、慢性的な速度低下が発生。
- 田辺西バイパスの全線開通により、交通が分散され、芳養交差点周辺の混雑緩和が期待。



【写真①】明洋交差点付近状況



①国道42号現道平行区間の交通量(芳養～田辺市境)



【写真②】R42・芳養交差点の混雑



国道42号現道並行区間の速度低下発生状況(平日年間平均)



【参考:周辺の交通状況について】

②芳養清川線の交通量



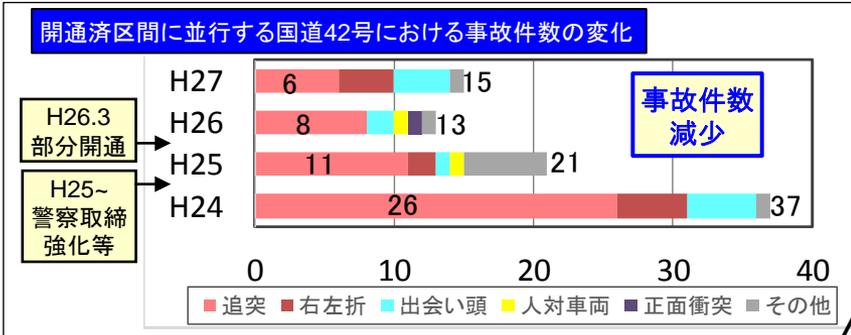
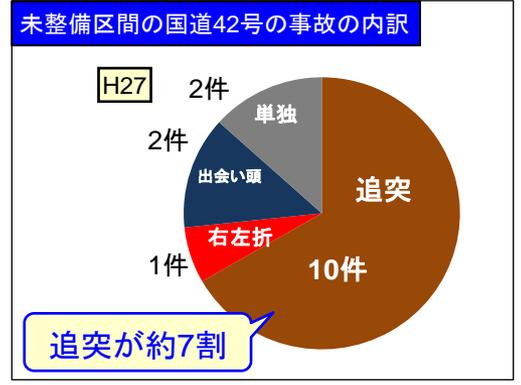
【写真③】芳養清川線の混雑



2. 事業の必要性等に関する視点 一般国道42号 田辺西バイパス

2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

- 田辺西バイパスの開通済区間と並行する国道42号は交通転換が図られ、交通が分散し、事故件数が減少。
- 田辺西バイパスの未整備区間と並行する国道42号の事故は、部分開通による交通集中に伴う急な速度低下を原因とする、追突事故が発生。当該区間の交通事故全体の約7割が追突事故。
- 田辺西バイパスの整備により、交通が分散されることで国道42号の事故減少が期待。



3. 事業の必要性等に関する視点 一般国道42号 田辺西バイパス

2) 事業の整備効果(災害時の交通確保)

- 田辺西バイパスと並行する一般国道42号(5.6km)について、東南海・南海地震時に予想される津波浸水被害予測延長は約4km(約7割が被災)。
- 東南海・南海地震時の津波により、国道42号が浸水した際には、田辺西バイパスが迂回路および避難路として機能するため、物流や市民生活の機能の確保。

● 田辺西バイパスの現道区間での津波浸水予測図

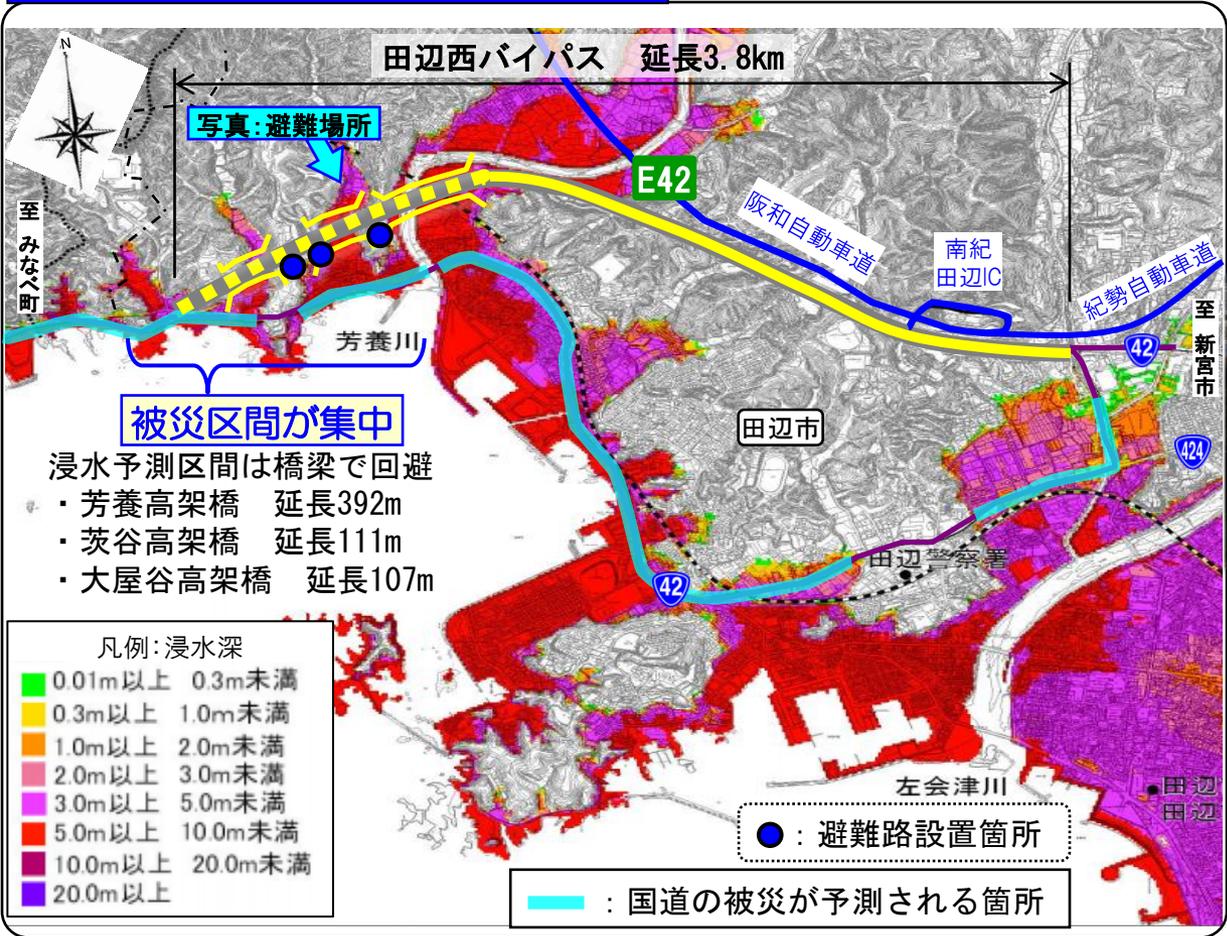
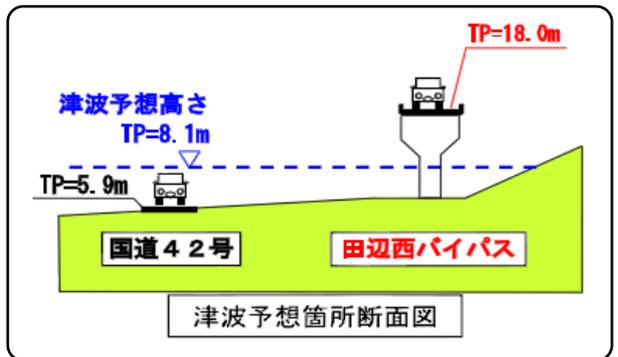


写真: 避難路の設置



資料: 南海トラフの巨大地震による浸水想定 和歌山県

2. 事業の必要性等に関する視点 一般国道42号 田辺西バイパス

3) 事業の投資効果

■ 便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■ 費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■ 事業全体

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	559億円	89億円	32億円	681億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	372億円		22億円	394億円	

■ 算出条件等

基準年 : 平成29年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
 交通量の推計時点 : 平成42年度
 交通量の推計手法 : 平成17年度
 道路交通センサス統合推計モデル【第二段階】

■ 残事業

便益(B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比(B/C)
	77億円	17億円	6億円	99億円	
費用(C)	事業費		維持管理費	総費用	
	53億円		11億円	64億円	

適用した費用便益分析

マニュアル : 平成20年11月版
 事業費 : 305億円
 維持管理費 : 34百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

4) 地域における計画等

■地域における計画

田辺西バイパスは、下記の計画に位置付けられています。

- ◆和歌山県長期総合計画(和歌山県:平成29年)
- ◆和歌山県都市計画マスタープラン(和歌山県:平成27年5月)
- ◆第1次田辺市総合計画(田辺市:平成19年3月)
- ◆田辺市都市計画マスタープラン(田辺市:平成22年3月)

■これまでの経緯

- ◆平成3年10月 国道42号(田辺～新宮)改良促進協議会 を設立

・構成メンバー 田辺市長、田辺市議長、白浜町長、白浜町議長、上富田町長、上富田町議長、すさみ町長、すさみ町議長、串本町長、串本町議長、新宮市長、新宮市議長、北山村村長、北山村議長、那智勝浦町長、那智勝浦町議長、太地町長、太地町議長、古座川町長、古座川町議長、和歌山県議会議員

(最近の動向)

- ・田辺西バイパスの事業促進を要望

3. 事業の進捗の見込みの視点

1) 事業の進捗状況

平成29年度事業内容

- ・現在、用地買収、橋梁上部工事、改良工事を実施。

進捗状況

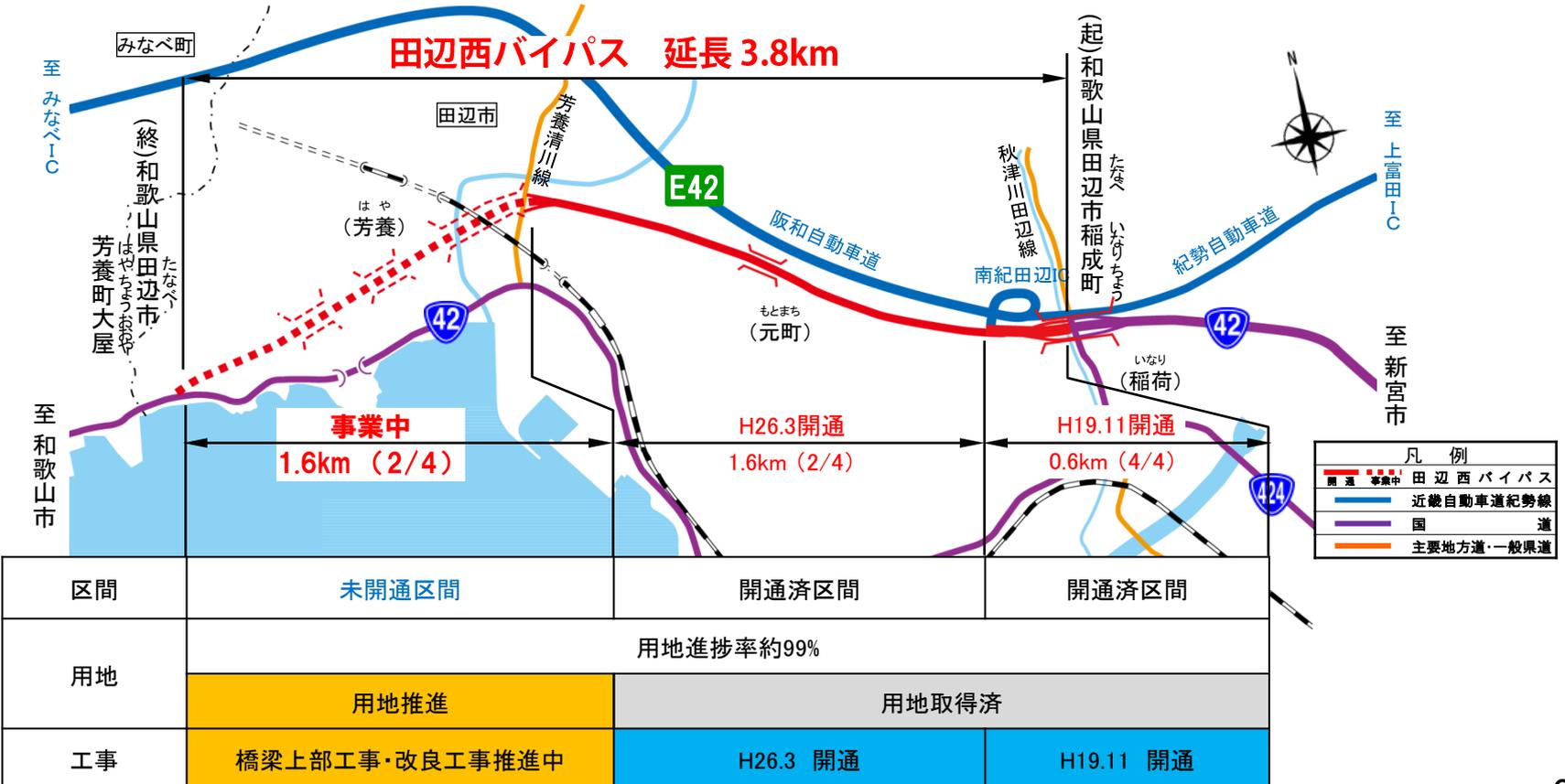
- ・平成28年度末までの進捗は、用地進捗率約99%(事業全体面積ベース)、事業進捗率約83%(事業費ベース)。

事業進捗上の課題

- ・用地について、難航案件の早期解決が必要。

2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き用地買収を実施するとともに、橋梁上部工事、改良工事を推進する予定。



※用地進捗率はH29年3月末の面積ベース

■ 全体事業費の見直し

○法面補強工の追加などにより約28億円の事業費増加が生じたため、コスト削減を図ったものの、事業費全体では約25億円の増額が発生。

■ 事業費増加の要因

- ①当初想定していた地質等の条件が異なっていたことにより、新たに法面補強工の追加が必要となった。
- ②当初想定していた地質等の条件が異なっていたことにより、新たに地盤改良の追加が必要となった。
- ③関係機関との協議の結果、排水計画を見直し、新たに調整池の設置が必要となった。

■ コスト縮減の取組

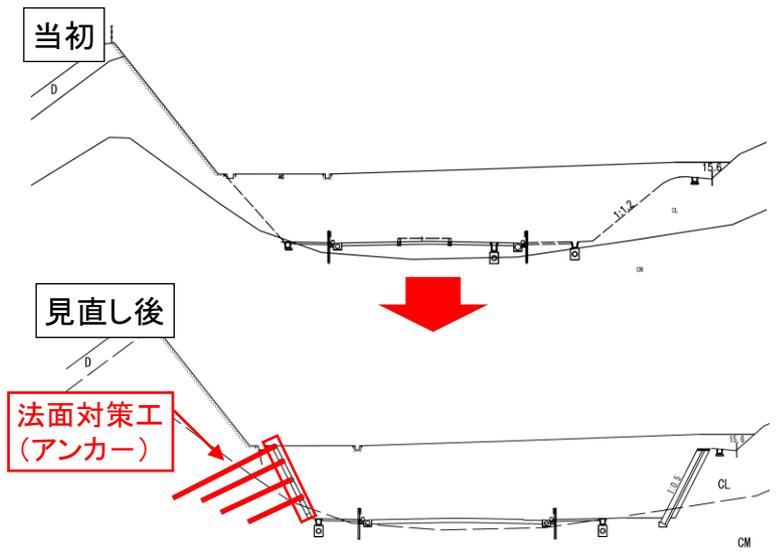
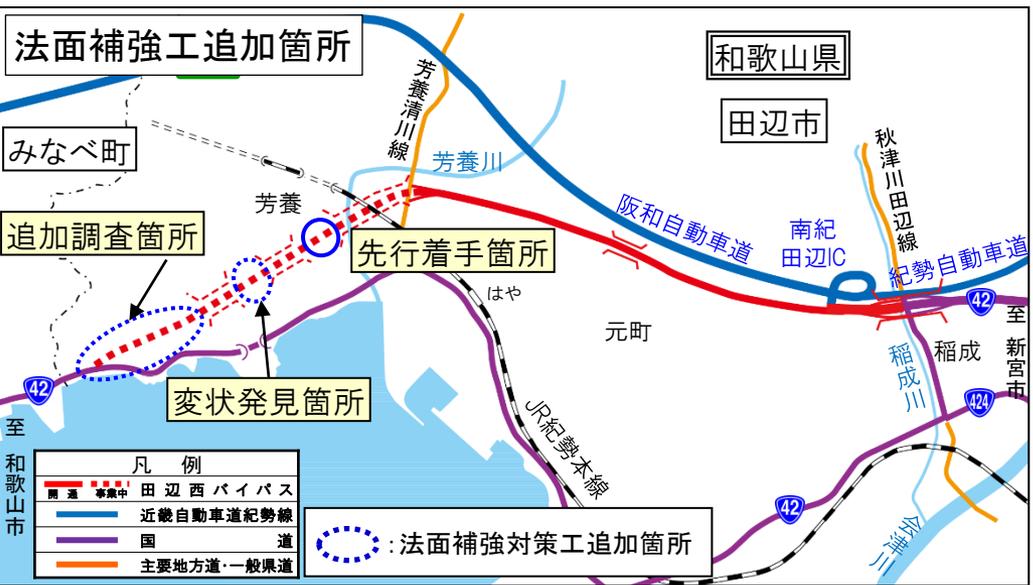
- ④事業費増加にあたり、コスト縮減策を検討した結果、建設発生土を南海トラフ地震発生時の災害対策用の大型土のうなどの備蓄転用(運搬距離減)することで約3億円のコスト縮減を図る。

単位：億円

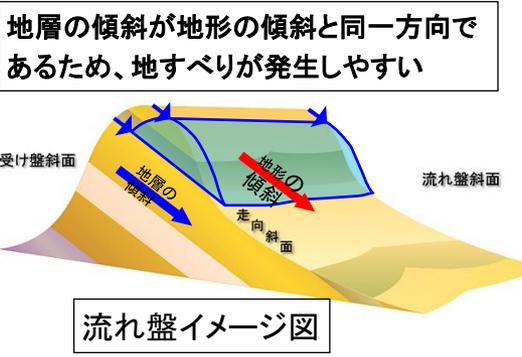
NO	主な変更理由		金額	備考
①	地質に係るもの	法面補強工の追加による増	18.7	
②		軟弱地盤地のための地盤改良工追加による増	3.6	
③	調整池・排水構造物の追加設置による増		6.0	
④	建設発生土運搬距離の減少による減(大型土のうなどの備蓄転用)		-3.3	
	合 計		25.0	

■法面補強工の追加による増 (+18.7億円)

■当初、地質調査、道路詳細設計を実施し、ボーリング結果も健全であるため、対策工は不要と判断し、土工部の一部を先行着手。
 ■未施工区間の地山の変状が見られたため、調査をおこなったところ法面崩壊の危険がある地質状況であったため新たに法面補強工を追加。

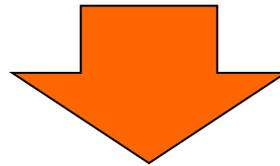


■未施工箇所の地山状況



4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

たなべ にし
田辺西バイパスは、国道42号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害時の交通確保を目的に、周辺の土地利用状況等を勘案し選定された合理的な計画としています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら引き続き事業を推進していきます。

5. 関係自治体の意見

■和歌山県知事

平成29年10月19日 県総第10040001号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

国道42号田辺西バイパスは、近畿自動車道紀勢線南紀田辺ICへのアクセス道路としての機能を担うとともに、国道42号の渋滞緩和を目的とする道路であります。

また、国道42号の現道は南海トラフ巨大地震などによる津波で浸水することが想定されており、大規模地震への備えとしても重要な道路であることから、対応方針(原案)のとおり事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等に努め、一日も早い供用をお願いします。

5. 関係自治体の意見

◆ 沿線市町村の期待

■ 田辺市長

コメント

(期待する効果)

①防災

・田辺西バイパスの整備により、南海トラフの巨大地震等による大規模災害発生時に、地域の孤立回避や迅速な救助、支援に期待。

②消防・救急医療

・消防本部の田辺バイパス沿線への移転による迅速性向上、血液センターから南和歌山医療センターや紀南病院など高次救急医療施設への救急性向上など、地域の緊急医療体制の充実に期待。

③観光

・みなべ町とのアクセス性向上に伴う観光客増の更なる後押しに期待。(みなべロイヤルホテル、南部梅林等のアクセス性向上)

④沿線地域の生活環境の向上

・物流を中心とした通過交通のバイパスへの転換によって、国道42号沿線の交通環境改善により居住性、利便性が向上し、沿線の開発等に期待。

(取り組み)

①防災

・道路法面を活用した避難路の設置にあわせて、地元も地域からの連絡路、避難階段や避難広場等を整備。

②消防・救急医療

・消防本部の田辺バイパス沿線への移転及び出動担当地域の変更。

③観光

・隣接自治体との情報共有、連携の推進。

④沿線地域の生活環境の向上

・住みやすい地域づくりに向けた、国道42号バイパス、現道につながる地域の計画的な推進。

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の交通確保が必要な状況は変化していない。
- ・田辺西バイパスの整備により交通が分散され、交通混雑の緩和が期待。
- ・田辺西バイパスの整備により交通が分散されることで、国道42号の交通事故減少が期待。
- ・田辺西バイパスの整備によりに並行する現道は、地震による津波被災等による通行止め等が懸念されており、バイパス整備により迂回路及び避難路となることが期待。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.7、残事業で1.6。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・田辺西バイパスは、これまでに3.8kmのうち2.2kmを開通している。
- ・現在、残る区間について、用地取得、改良・橋梁工事を推進。
- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す。

たなべにし
田辺西バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 8-2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成29年度第4回

一般国道42号
たなべにし
田辺西バイパス
【再評価】

平成29年10月
近畿地方整備局

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道42号 田辺西バイパス
事業主体	近畿地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

前提条件	指標	指標チェックの根拠
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全体：費用便益比(B/C)=1.7 (経済的純現在価値(B-C)=287億円、経済的内部収益率(IRR)=6.2%) 採事業：費用便益比(B/C)=1.6 (経済的純現在価値(B-C)=30億円、経済的内部収益率(IRR)=7.6%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 田辺な モビリティの 確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率 <input checked="" type="checkbox"/> 現道等における渋滞時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される <input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通量断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される <input type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する <input checked="" type="checkbox"/> 幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 農林水産物を主体とする地域において農林水産物の流通の利便性向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	区間：(費用便益分析対象区間) について、3047万人・時間/年 現道：(現道) 3186万人・時間/年 (3186万人・時間/年) 渋滞損失削減率：1万・時間/年 区間：(当該区間/並行区間) について、一般国道42号、上野田新線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間：57万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率：10削減 国道4号 (田辺市芳養町松原)、(旅行速度)18.1km/h(→改善済)
物流効率化 の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる <input checked="" type="checkbox"/> 農林水産物を主体とする地域において農林水産物の流通の利便性向上が見込まれる <input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくは150規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	みなべ町～紀伊田辺駅 (所要時間16分→13分) みなべ町～新紀白浜空港 (所要時間33分→32分) 田辺市、みなべ町 (梅)、主な出荷先東京都、大阪府

1. 活力

<p>都市の専生 ネットワーキング の構築</p>	<p><input type="checkbox"/> 都市専生プロジェクトを支援する事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり</p> <p><input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km²以下である市街地内での事業である</p> <p><input type="checkbox"/> D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する</p> <p><input type="checkbox"/> 対象区画が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は10ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる</p> <p><input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自動車道(A路線)としての位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 日常生活圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる</p> <p><input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、本路線イベントを支援する</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される</p> <p><input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である</p> <p><input type="checkbox"/> 新規整備の公共施設へ直結する道路である</p> <p><input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である</p>	<p>みなべ町役場～田辺市役所 (所要時間:27分～28分)</p> <p>白浜温泉、龍神温泉、中辺路等 (年間観光客入込数6,124千人/年 H28年)</p>
-----------------------------------	---	---

<p>2. 暮らし</p> <p>歩行者・自転車 のための生活空間の形成</p> <p>無電柱による 美しい町並みの 形成</p> <p>安全で安心でき るくらしの環境 の確保</p> <p>安全</p>	<p>自動車交通量が500台/日以上、自転車交通量が1,000台/日以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる</p> <p>交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定整備路を形成する区間が新たにバリアフリー化される</p> <p>対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり</p> <p>市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する</p> <p>三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる</p> <p>現道等に死傷事故率が500件/万台キロ以上である区間が存在する場合には、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる</p> <p>当該区間の自動車交通量が1,000台/日以上（当該区間が通学路である場合は500台/日以上）、かつ歩行者交通量が100人/日以上、当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量が500人/日以上の場合において、歩道が狭い又は狭小な区間に歩道が設置される</p> <p>近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する</p> <p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業5ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p>緊急輸送道路が通行止になった場合に大層な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p>並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A）路線としての位置づけがある場合）</p> <p>現道等の防災拠点又は震災点検要対策箇所もしくは禁煙の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p>現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p>避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p>職員以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p>密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p> <p>対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：2.95t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてBox排出削減量：1.02t/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：0.17t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてSIV排出削減量：0.05t/年</p>	<p>みなべ町～南和歌山医療センター（所要時間：24分→23分）</p> <p>国道42号（田辺市芳楽町清地路～田辺市芳楽町大屋）</p> <p>002排出削減量：1282.61t-CO2/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：2.95t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてBox排出削減量：1.02t/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：0.17t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてSIV排出削減量：0.05t/年</p> <p>国道42号 田辺市芳楽町清地路内（騒音レベル73dB、夜間68dB→改善見込み）</p> <p>その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p>道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>
<p>4. 環境</p> <p>地球環境の保全</p> <p>生活環境の改善・保全</p>	<p>002排出削減量：1282.61t-CO2/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：2.95t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてBox排出削減量：1.02t/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：0.17t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてSIV排出削減量：0.05t/年</p> <p>国道42号 田辺市芳楽町清地路内（騒音レベル73dB、夜間68dB→改善見込み）</p>	<p>002排出削減量：1282.61t-CO2/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：2.95t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてBox排出削減量：1.02t/年</p> <p>（推計結果） 評価対象区間（現道/並行区間等）：一般国道42号、上富田南郡線、秋津川田辺線、田辺白浜線、国道424号 排出削減量：0.17t/年、排出削減率：2割削減 （ハイバス事業の場合）ハイバス等についてSIV排出削減量：0.05t/年</p> <p>国道42号 田辺市芳楽町清地路内（騒音レベル73dB、夜間68dB→改善見込み）</p>
<p>5. その他</p> <p>他のアジェンダとの関係</p>	<p>その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p>道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	<p>その他、環境や景観上の効果が期待される</p> <p>道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p>関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p>他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p>その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	田辺西バイパス	L=3.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
8,800	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	289億円	61億円	350億円
うち残事業分	59億円	29億円	88億円
基準年における 現在価値 (C)	372億円	22億円	394億円
うち残事業分	53億円	11億円	64億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	33億円	5.2億円	1.9億円	40億円
基準年における 現在価値 (B)	559億円	89億円	32億円	681億円
うち残事業分	77億円	17億円	6.0億円	99億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.7
経済的純現在価値（事業全体）	287億円
経済的内部収益率（事業全体）	6.2%
費用便益比（残事業）	1.6
経済的純現在価値（残事業）	36億円
経済的内部収益率（残事業）	7.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	8,800台/日	±10%	1.5~2.0
事業費	59億円	±10%	1.7~1.8
事業期間	4年	±20%	1.7~1.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	8,800台/日	±10%	1.3~1.8
事業費	59億円	±10%	1.4~1.7
事業期間	4年	±20%	1.5~1.6

交通状況の変化

様式－3①

事業名：田辺西バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (3.8km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	8,800	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	4	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	6.62	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道42号 (4.9km)	交通量	[台/日]	14,200	7,400
		走行時間	[分]	10	8
		走行時間費用	[億円/年]	25.69	10.76
	上富田南部線 (10.1km)	交通量	[台/日]	1,700	200
		走行時間	[分]	22	19
		走行時間費用	[億円/年]	7.24	0.90
	秋津川田辺線 (7.1km)	交通量	[台/日]	3,000	2,200
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	7.63	5.40
	田辺白浜線 (2.6km)	交通量	[台/日]	15,100	13,100
		走行時間	[分]	8	7
		走行時間費用	[億円/年]	20.46	15.93
	国道424号 (1.9km)	交通量	[台/日]	6,700	6,600
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	4.60	4.10
③その他道路合計 (3,262.0km)	走行時間費用	[億円/年]	3,080.41	3,069.62	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,146.03	3,113.32	32.71

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



交通状況の変化

様式-3①

事業名：田辺西バイパス（残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 (3.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	10,500	7,400	
	走行時間 ^{※2}	[分]	2	3	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	3.83	4.62	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道42号 (4.9km)	交通量	[台/日]	11,000	7,400
		走行時間	[分]	9	8
		走行時間費用	[億円/年]	17.09	10.76
	上富田南部線 (10.1km)	交通量	[台/日]	300	200
		走行時間	[分]	19	19
		走行時間費用	[億円/年]	0.96	0.90
	秋津川田辺線 (7.1km)	交通量	[台/日]	1,900	2,200
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	4.56	5.40
	田辺白浜線 (2.6km)	交通量	[台/日]	11,700	13,100
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	13.65	15.93
	国道424号 (1.9km)	交通量	[台/日]	7,200	6,600
		走行時間	[分]	4	4
		走行時間費用	[億円/年]	4.58	4.10
③その他道路合計 (3,262.6km)	走行時間費用	[億円/年]	3,073.15	3,071.62	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：3,292.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	3,117.82	3,113.32	4.50

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：田辺西バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成29年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いた OD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の 考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の 推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の 考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

		項目	チェック欄	
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
			冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他 ()	<input type="checkbox"/>	
	車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
独自に設定した値を使用		<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他()	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載 既存の路線の実績を参考に設定		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用		考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>
			考慮する	<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
			当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)	
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道42号 田辺西バイパス

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.34	3.8	1.31

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在単価	単純単価	現在単価
-25年目	H 9	2.1911	117.5	0.48	0.92		
-24年目	H 10	2.1068	116.9	1.14	2.11		
-23年目	H 11	2.0258	115.2	1.62	2.93		
-22年目	H 12	1.9479	113.8	1.26	2.22		
-21年目	H 13	1.8730	112.4	3.46	5.93		
-20年目	H 14	1.8009	110.5	7.90	13.25		
-19年目	H 15	1.7317	109.0	8.53	13.94		
-18年目	H 16	1.6651	108.0	14.14	22.43		
-17年目	H 17	1.6010	106.7	12.66	19.55		
-16年目	H 18	1.5395	105.9	19.35	28.95		
-15年目	H 19	1.4802	105.0	26.41	38.31		
-14年目	H 20	1.4233	104.4	21.24	29.80		
-13年目	H 21	1.3686	103.0	20.72	28.33		
-12年目	H 22	1.3159	101.3	24.25	32.41		
-11年目	H 23	1.2653	99.8	10.81	14.10		
-10年目	H 24	1.2167	99.0	29.38	37.16		
-9年目	H 25	1.1699	99.0	9.00	10.95		
-8年目	H 26	1.1249	101.5	0.09	0.11		
-7年目	H 27	1.0816	102.9	1.00	1.08		
-6年目	H 28	1.0400	102.9	9.35	9.73		
-5年目	H 29	1.0000	102.9	7.50	7.50		
-4年目	H 30	0.9615	102.9	13.06	12.55		
-3年目	H 31	0.9246	102.9	6.42	5.94		
-2年目	H 32	0.8890	102.9	11.93	10.60		
-1年目	H 33	0.8548	102.9	27.78	23.74		
供用開始年次	H 34	0.8219	102.9			1.21	1.00
1年目	H 35	0.7903	102.9			1.21	0.96
2年目	H 36	0.7599	102.9			1.21	0.92
3年目	H 37	0.7307	102.9			1.21	0.89
4年目	H 38	0.7026	102.9			1.21	0.85
5年目	H 39	0.6756	102.9			1.21	0.82
6年目	H 40	0.6496	102.9			1.21	0.79
7年目	H 41	0.6246	102.9			1.21	0.76
8年目	H 42	0.6006	102.9			1.21	0.73
9年目	H 43	0.5775	102.9			1.21	0.70
10年目	H 44	0.5553	102.9			1.21	0.67
11年目	H 45	0.5339	102.9			1.21	0.65
12年目	H 46	0.5134	102.9			1.21	0.62
13年目	H 47	0.4936	102.9			1.21	0.60
14年目	H 48	0.4746	102.9			1.21	0.58
15年目	H 49	0.4564	102.9			1.21	0.55
16年目	H 50	0.4388	102.9			1.21	0.53
17年目	H 51	0.4220	102.9			1.21	0.51
18年目	H 52	0.4057	102.9			1.21	0.49
19年目	H 53	0.3901	102.9			1.21	0.47
20年目	H 54	0.3751	102.9			1.21	0.45
21年目	H 55	0.3607	102.9			1.21	0.44
22年目	H 56	0.3468	102.9			1.21	0.42
23年目	H 57	0.3335	102.9			1.21	0.40
24年目	H 58	0.3207	102.9			1.21	0.39
25年目	H 59	0.3083	102.9			1.21	0.37
26年目	H 60	0.2965	102.9			1.21	0.36
27年目	H 61	0.2851	102.9			1.21	0.35
28年目	H 62	0.2741	102.9			1.21	0.33
29年目	H 63	0.2636	102.9			1.21	0.32
30年目	H 64	0.2534	102.9			1.21	0.31
31年目	H 65	0.2437	102.9			1.21	0.30

32年目	H	66	0.2343	102.9			1.21	0.28
33年目	H	67	0.2253	102.9			1.21	0.27
34年目	H	68	0.2166	102.9			1.21	0.26
35年目	H	69	0.2083	102.9			1.21	0.25
36年目	H	70	0.2003	102.9			1.21	0.24
37年目	H	71	0.1926	102.9			1.21	0.23
38年目	H	72	0.1852	102.9			1.21	0.22
39年目	H	73	0.1780	102.9			1.21	0.22
40年目	H	74	0.1712	102.9			1.21	0.21
41年目	H	75	0.1646	102.9			1.21	0.20
42年目	H	76	0.1583	102.9			1.21	0.19
43年目	H	77	0.1522	102.9			1.21	0.18
44年目	H	78	0.1463	102.9			1.21	0.18
45年目	H	79	0.1407	102.9			1.21	0.17
46年目	H	80	0.1353	102.9			1.21	0.16
47年目	H	81	0.1301	102.9			1.21	0.16
48年目	H	82	0.1251	102.9			1.21	0.15
49年目	H	83	0.1203	102.9	-25.02	-3.01	1.21	0.15
合計					264.46	371.53	60.65	22.25
単純事業費計						289.48		60.65

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道42号 田辺西バイパス

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.20		3.2	0.63
-4年目	H 30	0.9615	102.9	13.06	12.55		
-3年目	H 31	0.9246	102.9	6.42	5.94		
-2年目	H 32	0.8890	102.9	11.93	10.60		
-1年目	H 33	0.8548	102.9	27.78	23.74		
供用開始年次	H 34	0.8219	102.9			0.58	0.48
1年目	H 35	0.7903	102.9			0.58	0.46
2年目	H 36	0.7599	102.9			0.58	0.44
3年目	H 37	0.7307	102.9			0.58	0.43
4年目	H 38	0.7026	102.9			0.58	0.41
5年目	H 39	0.6756	102.9			0.58	0.39
6年目	H 40	0.6496	102.9			0.58	0.38
7年目	H 41	0.6246	102.9			0.58	0.36
8年目	H 42	0.6006	102.9			0.58	0.35
9年目	H 43	0.5775	102.9			0.58	0.34
10年目	H 44	0.5553	102.9			0.58	0.32
11年目	H 45	0.5339	102.9			0.58	0.31
12年目	H 46	0.5134	102.9			0.58	0.30
13年目	H 47	0.4936	102.9			0.58	0.29
14年目	H 48	0.4746	102.9			0.58	0.28
15年目	H 49	0.4564	102.9			0.58	0.27
16年目	H 50	0.4388	102.9			0.58	0.26
17年目	H 51	0.4220	102.9			0.58	0.25
18年目	H 52	0.4057	102.9			0.58	0.24
19年目	H 53	0.3901	102.9			0.58	0.23
20年目	H 54	0.3751	102.9			0.58	0.22
21年目	H 55	0.3607	102.9			0.58	0.21
22年目	H 56	0.3468	102.9			0.58	0.20
23年目	H 57	0.3335	102.9			0.58	0.19
24年目	H 58	0.3207	102.9			0.58	0.19
25年目	H 59	0.3083	102.9			0.58	0.18
26年目	H 60	0.2965	102.9			0.58	0.17
27年目	H 61	0.2851	102.9			0.58	0.17
28年目	H 62	0.2741	102.9			0.58	0.16
29年目	H 63	0.2636	102.9			0.58	0.15
30年目	H 64	0.2534	102.9			0.58	0.15
31年目	H 65	0.2437	102.9			0.58	0.14
32年目	H 66	0.2343	102.9			0.58	0.14
33年目	H 67	0.2253	102.9			0.58	0.13
34年目	H 68	0.2166	102.9			0.58	0.13
35年目	H 69	0.2083	102.9			0.58	0.12
36年目	H 70	0.2003	102.9			0.58	0.12
37年目	H 71	0.1926	102.9			0.58	0.11
38年目	H 72	0.1852	102.9			0.58	0.11
39年目	H 73	0.1780	102.9			0.58	0.10
40年目	H 74	0.1712	102.9			0.58	0.10
41年目	H 75	0.1646	102.9			0.58	0.10
42年目	H 76	0.1583	102.9			0.58	0.09
43年目	H 77	0.1522	102.9			0.58	0.09
44年目	H 78	0.1463	102.9			0.58	0.09
45年目	H 79	0.1407	102.9			0.58	0.08
46年目	H 80	0.1353	102.9			0.58	0.08
47年目	H 81	0.1301	102.9			0.58	0.08
48年目	H 82	0.1251	102.9			0.58	0.07
49年目	H 83	0.1203	102.9	-0.46	-0.06	0.58	0.07
合計				58.72	52.77	29.17	10.73
単純事業費計				59.18		29.17	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

施設名: 一般国道42号 田辺西バイパス

便益の現在価値算定表 (事業全体)

年度 (事業年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海プロック)			GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)			走行経費便益 (億円)			事故減少便益 (億円)			合計 (億円)
	乗用車種	小型貨物	普通貨物		乗用車種	小型貨物	普通貨物	乗用車種	小型貨物	普通貨物	乗用車種	小型貨物	普通貨物	
年次 供用開始年次	H 29	H 34	H 39	102.9	20.32	7.03	5.52	32.86	27.01	5.18	4.26	1.87	1.48	39.91
1年目	0.99816	0.99287	1.01227	0.99953	0.8219	20.28	6.98	5.59	32.84	5.19	4.10	1.87	1.48	39.90
2年目	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.7903	20.24	6.93	5.66	32.82	5.19	3.94	1.87	1.48	39.88
3年目	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.7307	20.20	6.88	5.72	32.80	5.19	3.79	1.87	1.48	39.86
4年目	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.7026	20.17	6.83	5.79	32.78	5.19	3.65	1.87	1.48	39.84
5年目	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.6756	20.13	6.78	5.86	32.76	5.19	3.51	1.86	1.48	39.82
6年目	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.6496	20.09	6.73	5.93	32.74	5.20	3.38	1.86	1.48	39.81
7年目	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.6246	20.05	6.68	6.00	32.73	5.20	3.25	1.86	1.48	39.79
8年目	0.99814	0.99248	1.01117	0.99953	0.6006	20.02	6.63	6.08	32.71	5.20	3.12	1.86	1.48	39.77
9年目	0.99814	0.99246	1.01104	0.99953	0.5775	19.98	6.58	6.16	32.69	5.20	2.99	1.85	1.48	39.75
10年目	0.99814	0.99244	1.01091	0.99953	0.5553	19.94	6.53	6.24	32.67	5.20	2.85	1.84	1.48	39.73
11年目	0.99814	0.99242	1.01078	0.99953	0.5339	19.90	6.48	6.31	32.65	5.20	2.72	1.82	1.48	39.71
12年目	0.99814	0.99240	1.01065	0.99953	0.5134	19.86	6.43	6.38	32.63	5.20	2.59	1.81	1.48	39.69
13年目	0.99814	0.99238	1.01052	0.99953	0.4936	19.82	6.38	6.45	32.61	5.20	2.46	1.80	1.48	39.67
14年目	0.99814	0.99236	1.01039	0.99953	0.4746	19.78	6.33	6.52	32.59	5.20	2.33	1.78	1.48	39.65
15年目	0.99814	0.99234	1.01026	0.99953	0.4564	19.74	6.28	6.59	32.57	5.20	2.20	1.77	1.48	39.63
16年目	0.99814	0.99232	1.01013	0.99953	0.4388	19.70	6.23	6.66	32.55	5.20	2.07	1.76	1.48	39.61
17年目	0.99814	0.99230	1.01000	0.99953	0.4220	19.66	6.18	6.73	32.53	5.20	1.94	1.75	1.48	39.59
18年目	0.99814	0.99228	1.00987	0.99953	0.4057	19.62	6.13	6.80	32.51	5.20	1.81	1.73	1.48	39.57
19年目	0.99814	0.99226	1.00974	0.99953	0.3901	19.58	6.08	6.87	32.49	5.20	1.68	1.72	1.48	39.55
20年目	0.99814	0.99224	1.00961	0.99953	0.3751	19.54	6.03	6.94	32.47	5.20	1.55	1.71	1.48	39.53
21年目	0.99814	0.99222	1.00948	0.99953	0.3607	19.50	5.98	7.01	32.45	5.20	1.42	1.69	1.48	39.51
22年目	0.99814	0.99220	1.00935	0.99953	0.3468	19.46	5.93	7.08	32.43	5.20	1.29	1.68	1.48	39.49
23年目	0.99814	0.99218	1.00922	0.99953	0.3335	19.42	5.88	7.15	32.41	5.20	1.16	1.67	1.48	39.47
24年目	0.99814	0.99216	1.00909	0.99953	0.3207	19.38	5.83	7.22	32.39	5.20	1.03	1.66	1.48	39.45
25年目	0.99814	0.99214	1.00896	0.99953	0.3083	19.34	5.78	7.29	32.37	5.20	0.90	1.65	1.48	39.43
26年目	0.99814	0.99212	1.00883	0.99953	0.2965	19.30	5.73	7.36	32.35	5.20	0.77	1.63	1.48	39.41
27年目	0.99814	0.99210	1.00870	0.99953	0.2851	19.26	5.68	7.43	32.33	5.20	0.64	1.62	1.48	39.39
28年目	0.99814	0.99208	1.00857	0.99953	0.2741	19.22	5.63	7.50	32.31	5.20	0.51	1.61	1.48	39.37
29年目	0.99814	0.99206	1.00844	0.99953	0.2636	19.18	5.58	7.57	32.29	5.20	0.38	1.60	1.48	39.35
30年目	0.99814	0.99204	1.00831	0.99953	0.2534	19.14	5.53	7.64	32.27	5.20	0.25	1.59	1.48	39.33
31年目	0.99814	0.99202	1.00818	0.99953	0.2437	19.10	5.48	7.71	32.25	5.20	0.12	1.58	1.48	39.31
32年目	0.99814	0.99200	1.00805	0.99953	0.2343	19.06	5.43	7.78	32.23	5.20	0.00	1.57	1.48	39.29
33年目	0.99814	0.99198	1.00792	0.99953	0.2253	19.02	5.38	7.85	32.21	5.20	-0.13	1.55	1.48	39.27
34年目	0.99814	0.99196	1.00779	0.99953	0.2166	18.98	5.33	7.92	32.19	5.20	-0.26	1.54	1.48	39.25
35年目	0.99814	0.99194	1.00766	0.99953	0.2083	18.94	5.28	7.99	32.17	5.20	-0.39	1.53	1.48	39.23
36年目	0.99814	0.99192	1.00753	0.99953	0.2003	18.90	5.23	8.06	32.15	5.20	-0.52	1.51	1.48	39.21
37年目	0.99814	0.99190	1.00740	0.99953	0.1926	18.86	5.18	8.13	32.13	5.20	-0.65	1.50	1.48	39.19
38年目	0.99814	0.99188	1.00727	0.99953	0.1852	18.82	5.13	8.20	32.11	5.20	-0.78	1.49	1.48	39.17
39年目	0.99814	0.99186	1.00714	0.99953	0.1780	18.78	5.08	8.27	32.09	5.20	-0.91	1.48	1.48	39.15
40年目	0.99814	0.99184	1.00701	0.99953	0.1712	18.74	5.03	8.34	32.07	5.20	-1.04	1.45	1.48	39.13
41年目	0.99814	0.99182	1.00688	0.99953	0.1646	18.70	4.98	8.41	32.05	5.20	-1.17	1.44	1.48	39.11
42年目	0.99814	0.99180	1.00675	0.99953	0.1583	18.66	4.93	8.48	32.03	5.20	-1.30	1.42	1.48	39.09
43年目	0.99814	0.99178	1.00662	0.99953	0.1522	18.62	4.88	8.55	32.01	5.20	-1.43	1.41	1.48	39.07
44年目	0.99814	0.99176	1.00649	0.99953	0.1463	18.58	4.83	8.62	31.99	5.20	-1.56	1.40	1.48	39.05
45年目	0.99814	0.99174	1.00636	0.99953	0.1407	18.54	4.78	8.69	31.97	5.20	-1.69	1.38	1.48	39.03
46年目	0.99814	0.99172	1.00623	0.99953	0.1353	18.50	4.73	8.76	31.95	5.20	-1.82	1.37	1.48	39.01
47年目	0.99814	0.99170	1.00610	0.99953	0.1301	18.46	4.68	8.83	31.93	5.20	-1.95	1.36	1.48	38.99
48年目	0.99814	0.99168	1.00597	0.99953	0.1251	18.42	4.63	8.90	31.91	5.20	-2.08	1.35	1.48	38.97
49年目	0.99814	0.99166	1.00584	0.99953	0.1203	18.38	4.58	8.97	31.89	5.20	-2.21	1.33	1.48	38.95
合計						840.39	293.62	311.94	1,445.95	559.42	89.40	82.02	31.78	1,760.38

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名：一般国道42号 田辺西バイパス

年度 (事業年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海プロセツ)			GDP テアラータ	走行時間便益 (億円)			走行経費便益 (億円)			事故減少便益 (億円)			合 計 (億円)		
	乗用車類	小型貨物	普通貨物		乗用車類	小型貨物	普通貨物	乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	②計	③			
年次 供用開始年次	H 29	H 30	H 31	割引率 (A)	①×(A)	②×(A)	③×(A)	①×(A)	②×(A)	③×(A)	①×(A)	②×(A)	③×(A)	便益合計 (①)~(③)	現在価値 割引率4%	
1年目	H 35	0.99816	0.99287	1.01227	0.99953	0.8219	102.9	2.88	1.13	0.54	4.55	3.74	0.64	0.29	5.89	4.84
2年目	H 36	0.99815	0.99277	1.01198	0.99953	0.7903	102.9	2.68	1.12	0.54	4.54	3.59	0.64	0.28	5.88	4.65
3年目	H 37	0.99815	0.99272	1.01184	0.99953	0.7599	102.9	2.87	1.11	0.55	4.54	3.45	0.64	0.27	5.87	4.46
4年目	H 38	0.99815	0.99266	1.01170	0.99953	0.7307	102.9	2.87	1.10	0.56	4.53	3.31	0.64	0.26	5.87	4.29
5年目	H 39	0.99814	0.99261	1.01156	0.99953	0.7026	102.9	2.86	1.09	0.56	4.52	3.18	0.64	0.25	5.86	4.12
6年目	H 40	0.99814	0.99255	1.01143	0.99953	0.6756	102.9	2.85	1.08	0.57	4.52	3.05	0.63	0.24	5.85	3.95
7年目	H 41	0.99814	0.99250	1.01130	0.99953	0.6496	102.9	2.85	1.07	0.58	4.51	2.93	0.63	0.23	5.84	3.80
8年目	H 42	0.99806	0.99308	1.00215	0.99307	0.6246	102.9	2.84	1.06	0.59	4.50	2.81	0.63	0.22	5.83	3.64
9年目	H 43	0.99805	0.99303	1.00215	0.99302	0.6006	102.9	2.82	1.06	0.59	4.50	2.70	0.63	0.21	5.83	3.50
10年目	H 44	0.99804	0.99298	1.00214	0.99298	0.5775	102.9	2.79	1.05	0.59	4.49	2.58	0.62	0.20	5.78	3.34
11年目	H 45	0.99804	0.99293	1.00214	0.99293	0.5553	102.9	2.76	1.04	0.59	4.49	2.46	0.62	0.19	5.74	3.19
12年目	H 46	0.99802	0.99288	1.00213	0.99288	0.5339	102.9	2.74	1.03	0.60	4.46	2.35	0.61	0.19	5.70	3.04
13年目	H 47	0.99805	0.99278	1.00212	0.99282	0.5134	102.9	2.71	1.03	0.60	4.33	2.24	0.60	0.18	5.66	2.90
14年目	H 48	0.99805	0.99278	1.00212	0.99277	0.4936	102.9	2.68	1.02	0.60	4.30	2.14	0.60	0.17	5.62	2.77
15年目	H 49	0.99895	0.99273	1.00212	0.99272	0.4746	102.9	2.66	1.01	0.60	4.27	2.04	0.59	0.16	5.57	2.65
16年目	H 50	0.99895	0.99267	1.00211	0.99267	0.4564	102.9	2.63	1.00	0.60	4.23	1.95	0.59	0.15	5.53	2.52
17年目	H 51	0.99875	0.99262	1.00211	0.99261	0.4388	102.9	2.60	0.99	0.60	4.20	1.86	0.58	0.15	5.49	2.41
18年目	H 52	0.99864	0.99256	1.00211	0.99256	0.4220	102.9	2.58	0.99	0.60	4.17	1.77	0.58	0.14	5.45	2.30
19年目	H 53	0.99853	0.99251	1.00210	0.99250	0.4057	102.9	2.55	0.98	0.60	4.13	1.69	0.57	0.13	5.41	2.19
20年目	H 54	0.99842	0.99245	1.00210	0.99245	0.3901	102.9	2.52	0.97	0.61	4.10	1.61	0.57	0.13	5.36	2.09
21年目	H 55	0.99831	0.99239	1.00209	0.99239	0.3751	102.9	2.50	0.97	0.61	4.07	1.54	0.56	0.12	5.32	2.00
22年目	H 56	0.99819	0.99234	1.00209	0.99233	0.3607	102.9	2.47	0.96	0.61	4.04	1.47	0.55	0.12	5.28	1.90
23年目	H 57	0.99808	0.99228	1.00208	0.99227	0.3468	102.9	2.44	0.95	0.61	4.00	1.40	0.55	0.11	5.24	1.82
24年目	H 58	0.99895	0.99222	1.00208	0.99221	0.3335	102.9	2.42	0.94	0.61	3.97	1.34	0.54	0.11	5.19	1.73
25年目	H 59	0.99883	0.99215	1.00208	0.99215	0.3207	102.9	2.39	0.94	0.61	3.94	1.27	0.54	0.10	5.15	1.65
26年目	H 60	0.99871	0.99209	1.00207	0.99209	0.3083	102.9	2.36	0.93	0.61	3.91	1.21	0.53	0.10	5.11	1.58
27年目	H 61	0.99858	0.99203	1.00207	0.99202	0.2965	102.9	2.34	0.92	0.61	3.87	1.16	0.52	0.09	5.07	1.50
28年目	H 62	0.99844	0.99197	1.00206	0.99196	0.2851	102.9	2.31	0.92	0.61	3.84	1.10	0.52	0.09	5.03	1.43
29年目	H 63	0.99831	0.99190	1.00206	0.99190	0.2741	102.9	2.28	0.91	0.62	3.81	1.05	0.51	0.08	4.98	1.37
30年目	H 64	0.99817	0.99183	1.00205	0.99183	0.2636	102.9	2.26	0.90	0.62	3.77	1.00	0.51	0.08	4.94	1.30
31年目	H 65	0.99803	0.99177	1.00205	0.99176	0.2534	102.9	2.23	0.89	0.62	3.74	0.96	0.50	0.08	4.90	1.24
32年目	H 66	0.98788	0.99170	1.00205	0.99169	0.2437	102.9	2.20	0.89	0.62	3.71	0.91	0.49	0.07	4.86	1.18
33年目	H 67	0.98774	0.99163	1.00204	0.99162	0.2343	102.9	2.18	0.88	0.62	3.68	0.87	0.49	0.07	4.81	1.13
34年目	H 68	0.98758	0.99156	1.00204	0.99155	0.2253	102.9	2.15	0.87	0.62	3.64	0.83	0.48	0.07	4.77	1.08
35年目	H 69	0.98743	0.99149	1.00203	0.99148	0.2166	102.9	2.12	0.86	0.62	3.61	0.79	0.48	0.06	4.73	1.02
36年目	H 70	0.98727	0.99141	1.00203	0.99141	0.2083	102.9	2.10	0.86	0.63	3.58	0.75	0.47	0.06	4.69	0.98
37年目	H 71	0.98710	0.99134	1.00203	0.99133	0.2003	102.9	2.07	0.85	0.63	3.54	0.72	0.47	0.06	4.65	0.93
38年目	H 72	0.98693	0.99126	1.00202	0.99126	0.1926	102.9	2.04	0.85	0.63	3.51	0.68	0.46	0.05	4.60	0.89
39年目	H 73	0.98676	0.99119	1.00202	0.99118	0.1852	102.9	2.02	0.84	0.63	3.51	0.65	0.45	0.05	4.56	0.84
40年目	H 74	0.98658	0.99111	1.00201	0.99110	0.1780	102.9	1.99	0.83	0.63	3.48	0.62	0.45	0.05	4.52	0.80
41年目	H 75	0.98640	0.99103	1.00201	0.99102	0.1712	102.9	1.96	0.82	0.63	3.45	0.59	0.44	0.05	4.48	0.77
42年目	H 76	0.98621	0.99095	1.00201	0.99094	0.1646	102.9	1.94	0.82	0.63	3.41	0.56	0.44	0.04	4.43	0.73
43年目	H 77	0.98602	0.99086	1.00200	0.99086	0.1583	102.9	1.91	0.81	0.63	3.38	0.54	0.43	0.04	4.39	0.70
44年目	H 78	0.98582	0.99078	1.00200	0.99077	0.1522	102.9	1.88	0.80	0.64	3.35	0.51	0.42	0.04	4.35	0.66
45年目	H 79	0.98562	0.99069	1.00199	0.99069	0.1463	102.9	1.86	0.79	0.64	3.32	0.49	0.42	0.04	4.31	0.63
46年目	H 80	0.98541	0.99061	1.00199	0.99060	0.1407	102.9	1.83	0.78	0.64	3.28	0.46	0.41	0.04	4.27	0.60
47年目	H 81	0.98519	0.99052	1.00199	0.99051	0.1353	102.9	1.80	0.78	0.64	3.25	0.44	0.41	0.04	4.22	0.57
48年目	H 82	0.98497	0.99043	1.00198	0.99042	0.1301	102.9	1.78	0.77	0.64	3.22	0.42	0.40	0.03	4.18	0.54
49年目	H 83	0.98474	0.99034	1.00198	0.99033	0.1251	102.9	1.75	0.76	0.64	3.18	0.40	0.39	0.03	4.14	0.52
合 計							119.33	47.08	30.38	196.79	76.54	26.49	8.80	255.31	99.25	49.25

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	田辺西バイパス	4	3.8km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考		
①工事費						25,823		
	改良費						16,264	
		土工	m ³	3,122,500	10,561	切土(1,384千m ³)、盛土(147千m ³)、捨土(1,243千m ³)等		
		軟弱地盤改良工	m ³	6,383	646			
		法面工	m ²	78,512	2,774	切土法面、盛土法面		
		擁壁工	式	1	1,560	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等		
		函渠工	m	194	723	排水工・調整池含む		
	橋梁費						8,103	
		100m以上	m	1,727	7,138	5橋		
		100m未満	m	130	965	3橋		
	トンネル費							
		NATM	m					
	シールド	m						
	IC・JCT費							
		IC	箇所					
	JCT	箇所						
	舗装費						1,178	
		車道舗装	m ²	79,111	1,037			
		歩道舗装	m ²	25,789	141			
	付帯施設費						278	
交通管理施設工		式	1	278	標識工、防護柵工、道路照明等			
遮音壁		m						
②用地及補償費						3,610		
	用地費				m ²	227,926	2,502	
		宅地	m ²	8,444	462			
		田畑	m ²	45,240	1,604			
		山林・原野	m ²	174,242	436			
補償費	式	1	1,108					
③間接経費				式	1	1,067	地質調査、測量、設計にかかる費用等	
全体事業費					30,500			

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	田辺西バイパス	4	3.8km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	3.8	700	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,550	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
国道42号	田辺西バイパス	4	1.6

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				6,022	
	改良費				3,217	
		土工	m ³	260,000	774	切土(350千m ³)、盛土(20千m ³)、捨土(330千m ³)等
		軟弱地盤改良工	m ³	1,800	360	
		法面工	m ²	12,980	1,195	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	288	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	m		600	調整池
	橋梁費				1,890	
		100m以上	m	392	1,890	芳養高架橋上部
		100m未満	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				710	
		車道舗装	m ²	40,000	636	
		歩道舗装	m ²	13,580	74	
	付帯施設費				205	
		交通管理施設工	式	1	205	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				226	
	用地費		m ²	7,840	46	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²	7,840	46	
		山林・原野	m ²			
	補償費		式	1	180	
③	間接経費		式	1	140	地質調査、測量、設計にかかる費用等
	全体事業費				6,388	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	田辺西バイパス	4	1.6km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	1.6	300	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	2,850	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			3,150	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

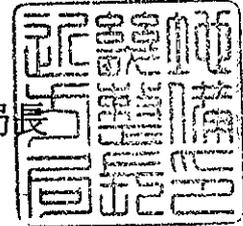


国近整企画114号

平成29年10月4日

和歌山県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対する御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成29年10月30日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成29年10月20日(金)までに、別紙について貴職の御意見を承りたく依頼いたします。

※御意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
紀の川総合水系環境整備事業	事業継続	
新宮川総合水系環境整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道42号田辺西バイパス	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【港湾事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
日高港塩屋地区国際物流ターミナル整備事業	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

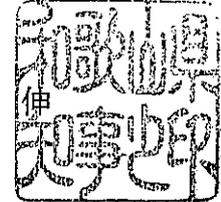


県総第 10040001 号

平成 29 年 10 月 19 日

近畿地方整備局長 様

和歌山県知事 仁坂 吉



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

平成 29 年 10 月 4 日付け国近整企画 114 号で意見照会のあった標記につ
いて、下記のとおり回答します。

記

○対応方針（原案）に対する意見について

・紀の川総合水系環境整備事業

紀の川総合水系環境整備事業は、国（浄化事業）、県（底泥浚渫）、市（下水道整備）が一体となり進めている内川（和歌山市）の水質改善事業の一環であり、県と和歌山市のまちづくりにおける重要な事業であります。現在でも、大門川では BOD が環境基準値を上回っている状況であり、早急な水質改善のためにも対応方針（原案）のとおり事業継続が妥当と考えます。

事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等に努め、一日も早い完成をお願いします。

なお、大門川浄化用水導水の現在の計画を変更することについては、実施体制や費用負担、年間を通じた安定的な導水量の確保の観点から、十分検討頂いた上で、関係機関との調整を図っていただきますようお願いいたします。

・新宮川総合水系環境整備事業

新宮川総合水系環境整備事業は、歴史と文化を育んできた新宮市のまちづくりに関わる重要な事業であり、対応方針（原案）のとおり事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等に努め、一日も早い完成をお願いします。

- ・一般国道42号田辺西バイパス

国道42号田辺西バイパスは、近畿自動車道紀勢線南紀田辺ICへのアクセス道路としての機能を担うとともに、国道42号の渋滞緩和を目的とする道路であります。

また、国道42号の現道は南海トラフ巨大地震などによる津波で浸水することが想定されており、大規模地震への備えとしても重要な道路であることから、対応方針（原案）のとおり事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等に努め、一日も早い供用をお願いします。

- ・日高港塩屋地区国際物流ターミナル整備事業

日高港塩屋地区国際物流ターミナル整備事業は、基幹産業の物流コストを削減するための大型船が入港できる環境の整備、クルーズ船寄港による賑わいの創出や入港船舶の安全性の向上が期待できる重要な事業であります。また、今後発生が予測される東海・東南海・南海3連動地震をはじめとする大規模地震や大型化する台風等の自然災害に対して地域の防災力強化も図られることから、対応方針（原案）のとおり事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、より一層のコスト縮減等に努め、一日も早い完成をお願いします。